




## 学 位 論 文 の 調 査 要 旨

専攻名 (又は推薦専攻名)	地域イノベーション学専攻	氏名	池山 敦
学位論文題目	地縁組織の現代的課題に関する研究 ～津波被災からの再建地縁組織の調査より～		
調査委員会	<div>委員長 豊福 裕二</div> <div>委員 青木 雅生</div> <div>委員 狩野 幹人</div> <div>    </div>		
<p>調査結果の要旨</p> <p>本論文は、地縁組織すなわち地域自治会の抱える現代的課題について、主に東日本大震災の被災地域における再建地縁組織に対する質問紙調査とその分析を通じて明らかにしたものである。まず 1 章では、社会学や地方自治学、行政学等の先行研究をもとに現代の地域自治会の歴史的な位置づけが明らかにされ、2 章では潜在的な地域課題の表出をもたらす大規模災害として東日本大震災に着目し、それが被災地域の地縁組織に及ぼした影響が考察されている。そして 3 章では調査対象である宮城県山元町における震災復興及び地域自治会の再建過程をふまえて、同町での調査結果の詳細が示されている。最後に 4 章では、調査結果の分析を通じて震災という危機の認識が住民の地域凝集性を高めたことを明らかにするとともに、そこから敷衍して、現代の地縁組織の一般的な基礎を物理的近接性に求め、それが地域凝集性につながるためには危機の認識とその共有が必要であるとし、最後にそのための方策として社会教育プログラムの実践が提案されている。以上の研究成果は、地縁組織の現代的な性格を巡る議論に独自の視点を提示するものであると同時に、地域自治会の存続という全国の地方自治体が抱える課題に取り組む上で示唆に富むものと評価できる。また、上記の教育プログラムはすでにいくつかの現場で実践されており、本研究科の掲げる研究成果の社会実装においても、その発展が期待できる。なお、論文の核となる第 4 章の内容は、単著論文として査読付き学会誌『コミュニティ政策』に掲載予定である。</p> <p>上記論文審査に加え、上記 3 名の審査委員による博士学位論文の口頭最終試験を行い、池山氏の博士としての基礎・専門知識について審査し、3 名すべての審査委員が池山氏に対して博士としての知識・能力があると評価した。</p> <p>以上の結果を総合し、本調査委員会は、本論文が特に地域イノベーション学研究科の研究として有意義であり、博士（学術）の学位を授与するにふさわしいものと判断した。</p>			